

＜参加者募集要項＞

公益財団法人

日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団

夏期インターンシップ

「グローバル・インフラストラクチャーに関する調査研究」

公益財団法人「日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団(日本 GIF)」は、持続可能な社会の実現のため、国をまたぐ大規模なインフラストラクチャー(エネルギー輸送網、国際流域における水資源管理システム、国と国を結ぶ交通ネットワークなど)と、それに関連する国際機関の動向や各国の政策等について、1990年の財団創立から調査・研究を行っています。詳細は日本 GIF のウェブサイトをご覧ください(<https://www.gif.or.jp/about>)。

このたび、大学生を対象に、調査研究の手法や論文執筆を体験していただく「夏期インターンシップ」を開催いたします。専門家やチューターから調査研究の方法を学び、グループでテーマに沿った調査研究に取り組んでいただきます。最後に、結果を論文に取りまとめる経験をしていただくプログラムとなっています。

本企画は今年で 3 回目になり、参加者のみなさまには毎年ご好評いただいています。調査研究の方法や論文の書き方を学びたい、他大学の学生と分野の垣根を超えた交流をしたいという皆様のご応募をお待ちしています。

インターンシッププログラム実施の目的

- グローバル・インフラストラクチャーの重要性を、若い世代の多くの方に知っていただきたい
- お住まいの地域を問わず、大学生の皆さんに広く体験・交流の機会を提供したい

昨年の参加者の声

「論文執筆に必要な情報を収集する方法や大変さを学べた」(KS さん、大学 3 年、埼玉県から参加)

「チューターの先生も含めて、専攻が違ったので、問題の捉え方と解決方法が異なっていて面白かった」(W さん、大学 2 年、北海道から参加)

「大人数で調査するからこそ、規模の大きい、深い調査ができた」(O さん、大学 3 年、東京都から参加)

「自分の知らない分野について、専門が異なる人と論文を執筆するという貴重な経験ができた」(K さん、大学 3 年、京都府から参加)

「他大学の学生と調査、研究、発表をするという経験が新鮮だった」(JS さん、大学 3 年、石川県から参加)

「この機会がなければ無い出会いを得られた」(Nさん、大学4年、宮城県から参加)

実施期間

2023年7月29日(土)～10月1日(日)

上記期間内に、1泊2日の宿泊型のミーティングを2回、オンラインミーティングを4回予定しています(詳細は下記参照)。期間内の活動時間は、1週間におよそ4時間程度を想定しています。

プログラム内容

1, 宿泊型ミーティング①

日程: 7月29日(土)13:30～17:00、7月30日(日)9:30～12:00

初日の夜は懇親会を予定

※宿泊・懇親会の参加は任意

会場: 東京都内研修型ホテル

内容: 調査研究の進め方、論文の書き方などについて、大学教員など専門家が説明します。その後、数名のチームに分かれて、グループワークを行います。各グループに、「あるグローバル・インフラストラクチャー(イメージは後述)が20年以内に実現可能か、可能にするにはどのような条件があるか、不可能ならその理由は何か」という研究テーマを提示します。チューターを交えて、研究テーマの内容や、今後の研究の進め方について話し合います。

調査研究の例: 中東平和水パイプラインについて

(インターンで実際に取り組む研究テーマではありません)

1986年にトルコは、アラビア半島にある諸国にトルコが水を無料で提供する為の「平和水パイプライン」建設を提案しました。しかし、「平和水パイプライン」は20世紀中には実現しませんでした。ところがトルコは2010年代半ばに、同国の南東部から北キプロスへの海中パイプラインを建設して、水を無料で提供し始めました。現在、トルコはヨルダンへのパイプライン建設と水の提供を提案しています。

「今から20年以内にトルコからヨルダンへのパイプライン建設と水の提供は実現する可能性は有るのか、可能性があるとしたら、その為に不可欠な条件は何なのか」を、教員やチューターのサポートを受けながら、チームで調査して明らかにします。

2, オンラインミーティング(4回予定)

- 2週間に1回程度、1回1～2時間ほど、チューターの指導の元、チームのメンバーで調査研究の進め方について話し合います。
- 次のミーティングまでの間に、チームで決めた計画に従って各自で調査研究を進め、再び持ち寄ります。

- 最後には、メンバーで分担して、学术论文を執筆します。

3, 宿泊型ミーティング②

日程：9月30日(土)13:30~17:00、10月1日(日)9:30~12:00

2日目の昼は懇親会を予定

※宿泊・懇親会の参加は任意

会場：①と同じ東京都内研修型ホテル

内容：グループワークを行い、2日目の午前中に、各チームの研究成果を発表します。

募集人数

10名程度

対象者

- 日本国内の4年制大学に在籍する大学生（大学院生は除く）
- 調査研究に興味がある方であれば、学部・専攻は不問（理系・文系どちらでも可）
- 年齢、性別、国籍不問（留学生の方はご相談ください）
- 日本語による講義が理解でき、日本語でのコミュニケーションが可能な方

参加条件

- 7月29日(土)~30日(日)および9月30日(土)~10月1日(日)の宿泊型ミーティングに参加できる方
※ どちらか1回のみしか参加できない方は不可とさせていただきます。
- オンラインミーティングに参加できる方
※ インターネット環境や、パソコン等の機材は各々ご用意をお願いします。

費用

- 参加費は**無料**です。
- 自宅から宿泊型対面ミーティングの会場(参加者に追ってご連絡します)までの、2回分の往復の旅費(交通費および宿泊費)は、**当財団が負担**します。東京近郊在住の方の交通費・宿泊費も負担します。(ただし、ご自宅から会場まで日帰り可能な方の宿泊は任意です。)
- 宿泊型ミーティング時の食事、懇親会の費用は**当財団で負担**します。

その他

- 期間中は、当財団の費用で傷害保険に加入します。
- グループ分け、担当する研究テーマは、こちらで決定します。

- 執筆していただいた論文を素材にして作成した成果物は、当財団の研究成果として公表させていただきます場合があります。
- 対面ミーティング②終了後に、インターン修了証を発行します(日英可)。

応募・選考方法

下記の書類を、**2023年5月26日(金)17時まで**に、info@gif.or.jp にご送付ください。

- (1) 履歴書(書式は任意)
- (2) 本人確認書類のコピー(学籍、居住地が確認できるもの、学生証などの身分証明書)
- (3) 課題

あなたは海辺の町の町長です。
町民を、将来起きるかもしれない大津波の被害から守りたいと考えています。
本当は高さ 10 メートルの防潮堤を建設したいのですが、「費用がかかりすぎる」、
「景観を損なう」として、反対する人たちがいます。
津波の被害を確実に低減し、なおかつ町民に納得してもらうためには、どのような
インフラを作ればいいでしょうか？
(A4 用紙 1 枚程度)

- 2023年7月29日時点で未成年の方は、応募書類の提出前に、保護者の同意を得てください。
- 送付いただいた個人情報は当財団の規程に従い適切に取り扱い、本プログラムの実施以外の目的での使用はいたしません。選考後、不採用者の情報は速やかに破棄します。
- 参加をお願いする方には、**2023年6月9日(金)まで**に当財団より連絡いたします。それまでに当財団からの連絡がない場合は、ご参加いただけない旨、ご了承ください。

お問い合わせ先

公益財団法人日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団 事務局

電話: 03-4567-6267/050-5601-8106 (平日 9:30~17:30)

Email: info@gif.or.jp